



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 カシオ計算機株式会社

コード番号 6952 URL <http://casio.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻尾 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 財務・IR担当 (氏名) 高木 明徳

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	232,581	△11.2	20,375	△39.1	14,707	△55.9	10,634	△57.1
28年3月期第3四半期	261,817	6.8	33,472	28.6	33,335	22.1	24,811	40.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 9,462百万円 (△55.8%) 28年3月期第3四半期 21,416百万円 (△17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	41.64	40.85
28年3月期第3四半期	94.94	93.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	343,734	192,283	55.9
28年3月期	368,454	202,111	54.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 192,283百万円 28年3月期 202,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.50	—	22.50	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△6.3	30,500	△27.7	25,500	△37.9	18,000	△42.3	71.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) — 、 除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	259,020,914 株	28年3月期	269,020,914 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	8,636,123 株	28年3月期	12,688,923 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	255,362,179 株	28年3月期3Q	261,336,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における内外経済は、米国では新政権への期待感もあり底堅く推移した一方、中国及び新興国では成長鈍化による下振れ懸念が強まり、先行き不透明な状況で推移しました。

この環境下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,325億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,982億円、システムが278億円、その他が65億円となりました。

時計は最強ブランドである「G-SHOCK」の高価格帯ラインアップ拡充と様々なグローバルプロモーション効果により好調に推移しました。また、Bluetooth®でスマートフォンと連携する「EDIFICE」が好調に推移しました。電卓は学校販売強化により関数電卓が好調に推移しました。

損益につきましては、コンシューマは257億円の営業利益となりました。時計は製品ミックスの改善により高収益性を維持しました。電卓は関数電卓の好調により高収益性を確保しました。システムは構造改革の影響により22億円の営業損失となりました。その他は3億円の営業利益となりました。この結果、調整後の連結合計として203億円の営業利益となりました。また、経常利益は147億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は106億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末比247億円減少の3,437億円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末比98億円減少の1,922億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.0ポイント増の55.9%に改善されました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成29年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成28年11月2日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$=113円、1ユーロ=118円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この変更が損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,648	53,528
受取手形及び売掛金	47,843	40,774
有価証券	55,600	50,000
製品	43,082	42,071
仕掛品	6,943	4,762
原材料及び貯蔵品	7,751	8,037
その他	22,871	28,047
貸倒引当金	△501	△494
流動資産合計	250,237	226,725
固定資産		
有形固定資産		
土地	36,091	35,092
その他(純額)	24,791	23,311
有形固定資産合計	60,882	58,403
無形固定資産		
投資その他の資産	6,309	6,852
投資有価証券	34,407	37,162
退職給付に係る資産	9,113	9,723
その他	7,577	4,939
貸倒引当金	△71	△70
投資その他の資産合計	51,026	51,754
固定資産合計	118,217	117,009
資産合計	368,454	343,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,542	29,407
短期借入金	260	136
未払法人税等	4,334	2,074
製品保証引当金	779	791
その他	39,653	37,734
流動負債合計	79,568	70,142
固定負債		
新株予約権付社債	10,033	10,026
長期借入金	67,000	63,000
退職給付に係る負債	1,338	1,237
その他	8,404	7,046
固定負債合計	86,775	81,309
負債合計	166,343	151,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,058	65,058
利益剰余金	100,041	84,453
自己株式	△20,291	△13,359
株主資本合計	193,400	184,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,781	9,576
為替換算調整勘定	△1,844	△4,590
退職給付に係る調整累計額	2,774	2,553
その他の包括利益累計額合計	8,711	7,539
純資産合計	202,111	192,283
負債純資産合計	368,454	343,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	261,817	232,581
売上原価	145,071	136,673
売上総利益	116,746	95,908
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	27,193	25,213
その他	56,081	50,320
販売費及び一般管理費合計	83,274	75,533
営業利益	33,472	20,375
営業外収益		
受取利息	392	299
受取配当金	312	224
その他	167	161
営業外収益合計	871	684
営業外費用		
為替差損	383	5,765
その他	625	587
営業外費用合計	1,008	6,352
経常利益	33,335	14,707
特別利益		
固定資産売却益	4	762
その他	1,120	73
特別利益合計	1,124	835
特別損失		
事業構造改善費用	—	792
その他	377	109
特別損失合計	377	901
税金等調整前四半期純利益	34,082	14,641
法人税等	9,271	4,007
四半期純利益	24,811	10,634
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,811	10,634

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	24,811	10,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,389	1,795
為替換算調整勘定	△1,690	△2,746
退職給付に係る調整額	△316	△221
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△3,395	△1,172
四半期包括利益	21,416	9,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,416	9,462
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①自己株式の取得

当社は、平成28年11月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が8,394百万円増加しております。

②自己株式の消却

当社は、平成28年11月2日開催の取締役会決議に基づき、平成28年11月30日に自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が0百万円、利益剰余金が15,329百万円、自己株式が15,329百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	225,790	29,583	6,444	261,817	—	261,817
(2) セグメント間の内部 売上高	2	36	6,864	6,902	△6,902	—
計	225,792	29,619	13,308	268,719	△6,902	261,817
セグメント利益 又は損失(△)	38,899	△2,135	△138	36,626	△3,154	33,472

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,154百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,154百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	198,232	27,829	6,520	232,581	—	232,581
(2) セグメント間の内部 売上高	1	24	5,037	5,062	△5,062	—
計	198,233	27,853	11,557	237,643	△5,062	232,581
セグメント利益 又は損失(△)	25,730	△2,238	307	23,799	△3,424	20,375

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,424百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,424百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。